

令和5年梅雨前線による大雨及び台風2号

岡崎市における

災害ボランティア支援活動の記録

災害ボランティア支援センター編

令和5年6月3日～8日



社会福祉法人 岡崎市社会福祉協議会

1	はじめに	1
2	岡崎市の被災状況（令和5年6月21日時点）	2
	・被害件数	
3	岡崎市災害ボランティア支援センター開設・運営の経緯	3
4	岡崎市災害ボランティア支援センターの組織図とレイアウト	
	・組織図	4
	・レイアウト	5
	・岡崎市災害ボランティア支援センターの様子	6
5	ボランティアの依頼件数と依頼内容	7
	・依頼件数	
	・依頼内容	
	・依頼のあった地域	
6	ボランティア活動者数及びボランティアコーディネーター数	8
7	被災地域の様子とボランティア活動の様子	
	・被災地域の様子	9
	・ボランティア活動の様子	10
8	運営及び活動にご協力いただいた皆様	11
	・ボランティア活動者	
	・ボランティアコーディネーター	
	・寄付者	

1 はじめに

本市は2008年、平成20年8月末豪雨により、かけがえのない人命が失われた災害を経験しています。あれから15年を経た令和5年6月2日、梅雨前線及び台風2号に伴う大雨が市内各所で河川の氾濫や土砂崩れ、冠水をおこし、多くの住宅が被災しましたが、幸いにも人命にかかわる被害はありませんでした。この大雨により、社会福祉センター周辺の道路も冠水し、職員は市営住宅から逃げ遅れた高齢者の避難支援や退避車両の誘導などの災害対応を行うこととなりました。

これらの状況を鑑み、翌3日には、岡崎市地域福祉課、ふくし相談課、社会福祉協議会とで協議を行い、午前9時に岡崎市災害ボランティア支援センター準備室の設置を決定し、午後2時に岡崎市災害ボランティア支援センターを開設いたしました。

支援センターを開設していた6月3日から8日までの6日間、過去の経験を活かしつつ、日々寄せられる被災者からのニーズを整理し、ニーズに応じていただくボランティア活動者の募集範囲などを模索しながらの運営となりましたが、市内外から551名ものボランティア活動者およびボランティアコーディネーターの皆様からのご支援をいただいたことで、被災された方々の心情に寄り添う、早期復旧に向けた支援活動を進めることができました。

また、これまでご寄付等によりいただいております物資やセンター運営時に各所から貸与提供していただきました災害活動用資材等を活用させていただくことで、細やかな支援活動を行うことができました。

この記録は、今後想定される災害に備え、今回の被災者支援活動で得た経験を活かすことができるようにとの思いから作成いたしました。

未筆ではございますが、今回、岡崎市災害ボランティア支援センターの運営等に携わっていただきましたすべての皆様に、改めて感謝を申し上げます。

令和5年7月

岡崎市災害ボランティア支援センター
センター長 本間 孝司
(岡崎市社会福祉協議会 事務局長)

2 岡崎市の被災状況

1 主な被害状況

- 住家被害（床下、床上浸水）
 - ・乙川の氾濫：岡町、丸山町、小美町、茅原沢町
 - ・六斗目川の氾濫：美合町
 - ・鉢地川の氾濫：保母町
 - ・男川の氾濫：茅原沢町、生平町
- 丸岡新橋に取り付く道路舗装の隆起：丸山町、岡町
- 県道豊川・片寄線で車両が倒木と土砂崩れに挟まれ立ち往生：細光町
- 河川（乙川）からの流木による被害

被害件数（延べ件数：6月21日（水）17時現在）

全壊1棟／半壊125棟／一部破損6棟／床下浸水255棟

田流出・埋没53ha 畑流出・埋没76ha

道路損壊233箇所／道路冠水27箇所

河川越水24箇所／河川法面崩壊等112箇所

学校被害1箇所／病院被害4箇所

砂防8箇所／水道被害6戸／電話被害76回線／電気被害1,570戸

2 避難指示について

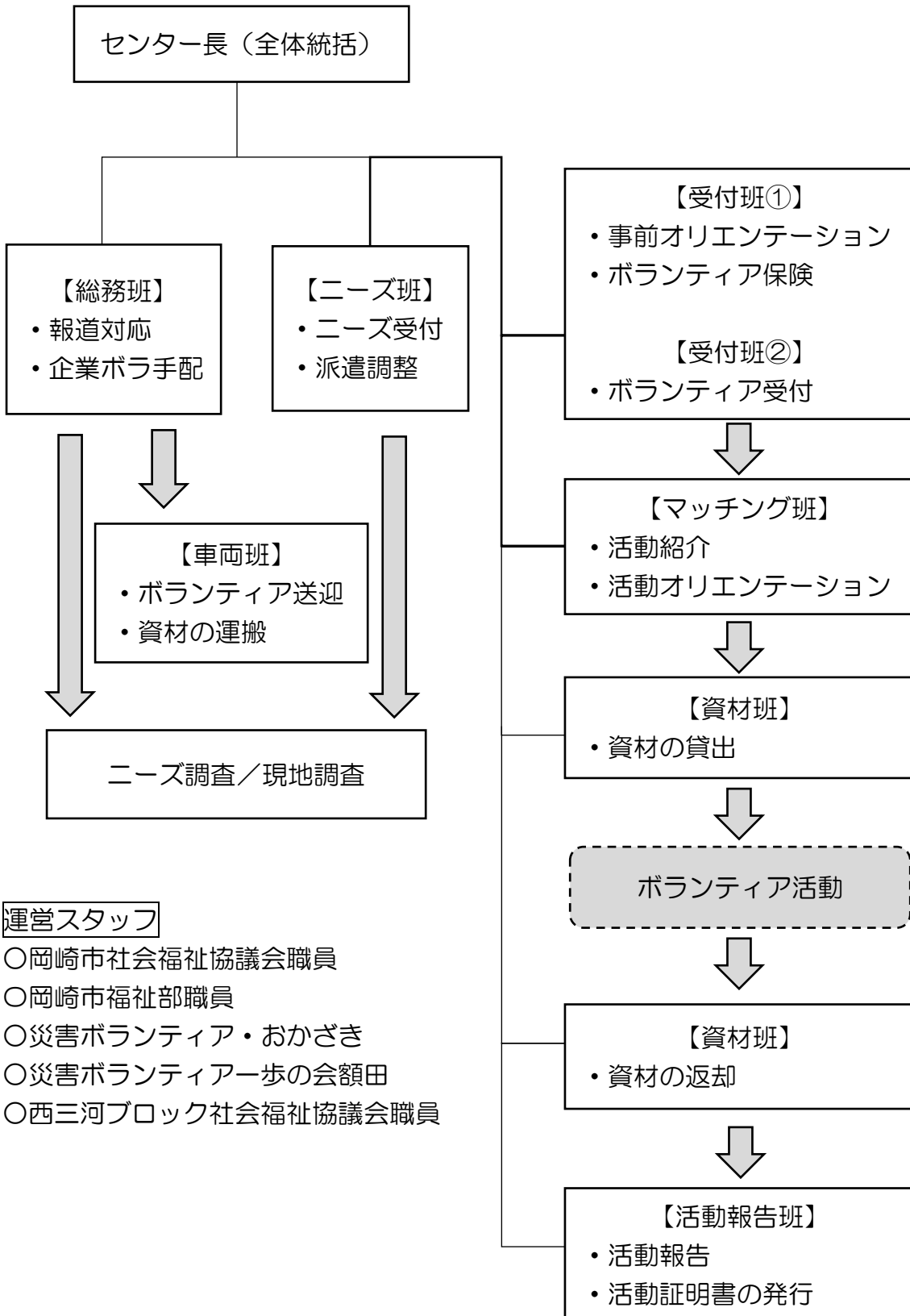
- 警戒レベル4：避難指示7,598世帯15,641人
- 矢作川沿線部に警戒レベル3：高齢者等避難27,738世帯63,710人
- 警報の成り行き
6月2日（金）
 - 10時43分 洪水警報発表
 - 10時53分 大雨警報（土砂災害）発表
 - 19時25分 土砂災害警戒情報発表
 - 0時45分 矢作川氾濫警戒情報解除
 - 1時33分 大雨（浸水害）警報解除
 - 3時40分 土砂災害警戒情報解除
 - 4時25分 大雨、洪水警報解除
- 今回の大雨による避難者数：合計129世帯252人
（6月3日（土）15時30分 市内全避難所閉鎖）

3 岡崎市災害ボランティア支援センター開設・運営の経緯

6月	内 容
2日	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨、洪水警報の発表 ・市内各所で高齢者等への避難指示の発表 ・市内土砂災害警戒情報が発表 ・住家被害（床下、床上浸水）情報の収集 <p>○六斗目川の氾濫による社会福祉センター周辺道路の冠水、浸水が懸念される市営住宅から的高齢者避難の支援及び退避車両の誘導</p>
3日	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎市地域福祉課、ふくし相談課、社会福祉協議会による災害ボランティア支援センター開設に向けた協議（開設場所、ボランティアの募集範囲等） ・10時:災害ボランティア支援センター準備室を設置 ・被災地域へのセンター啓発チラシの配布及びニーズの受付開始 ・14時:災害ボランティア支援センターを開設（期間：6月6日迄） ・岡崎市、社協のHPやSNSでボランティアの募集を開始（市内在住、在勤、在学）
4日	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動者の受入及び派遣を開始 ・新規及び再ニーズの受付、現地調査 ・センター開設時の募集連絡用「災害ボランティア用公式LINEアカウント」を立ち上げ、ボランティア活動者への登録案内を開始
6日	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定していた開設期間の最終日なるも、未完了のニーズがあることから期間を8日まで延長を決定
7日	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地域でニーズの再調査を実施。9日から災害ボランティア支援センター機能を維持しつつ規模を縮小した通常のボランティアセンターへ移行して被災者支援活動の継続を決定
8日	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア支援センターを閉鎖 （ボランティア活動者：合計人数551名、1日平均約110名） （ニーズ：新規依頼43件/再依頼延べ40件/完了40件）
9日 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会ボランティアセンターで被災者支援活動を継続

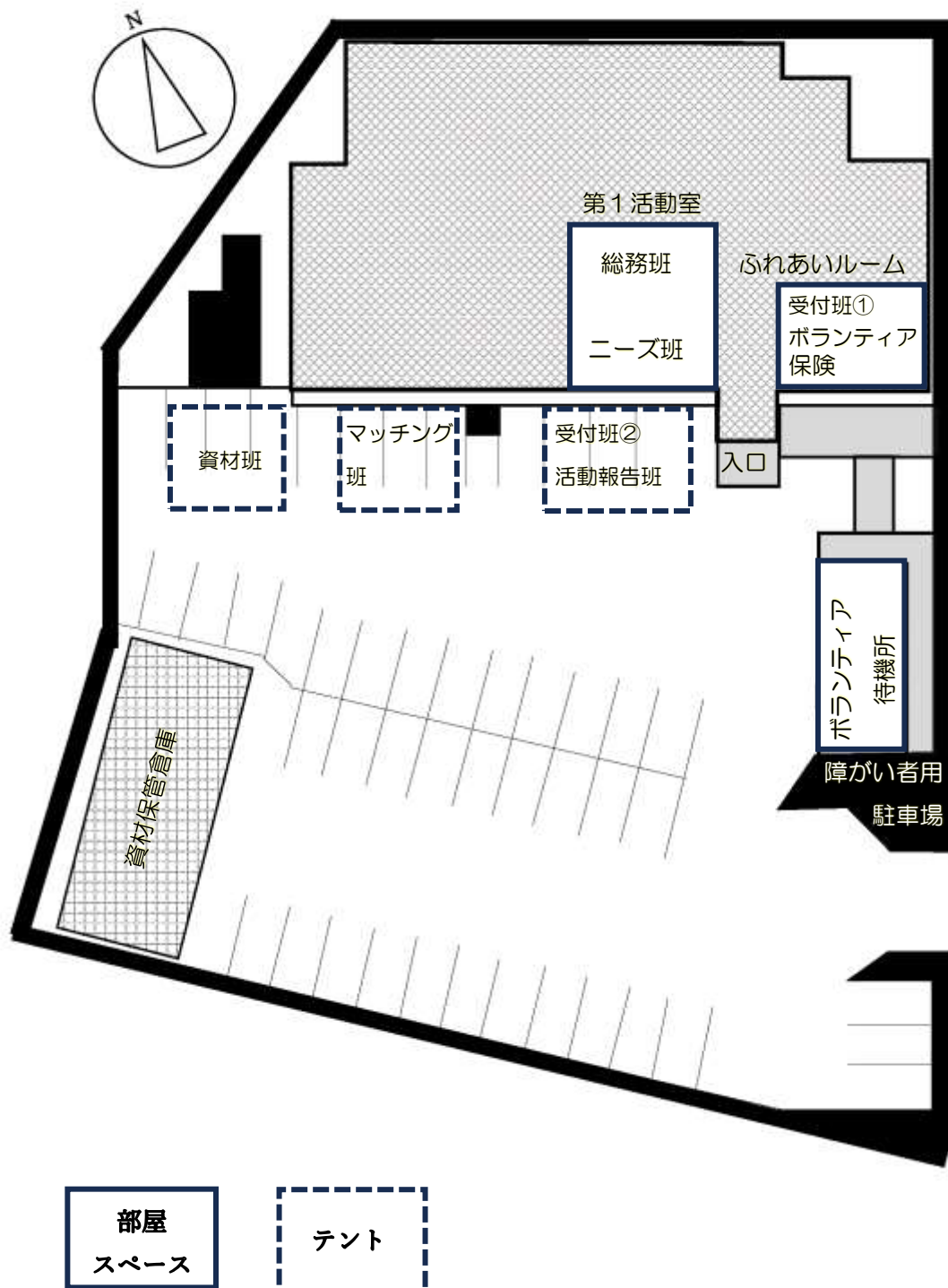
4 岡崎市災害ボランティア支援センターの組織図とレイアウト

■組織図



■レイアウト

岡崎市社会福祉センター1階及び駐車場（美合町五本松 68-12）



■災害ボランティア支援センターの様子



【受付班】 事前オリエンテーション



【受付班】 ボランティア受付



【マッチング班】
活動紹介、活動オリエンテーション



【資材班】 資材貸出、返却



【活動報告班】 活動報告



【ニーズ班・総務班】 ニーズ受付、総務

5 ボランティアの依頼件数と依頼内容

■依頼件数

依頼日	新規依頼件数	再依頼件数	完了件数
6月3日（土）	11件	—	—
6月4日（日）	11件	4件	11件
6月5日（月）	8件	8件	5件
6月6日（火）	9件	14件	12件
6月7日（水）	3件	8件	10件
6月8日（木）	1件	6件	2件
合計	43件	40件	40件

※ キャンセル2件（ボランティアでは対応できないニーズのため）
資材のみ貸出1件

■依頼内容

- ・濡れた家財の運搬、片づけ
- ・床の掃除
- ・床板はがし（床板が割れて良い依頼に限る）
- ・床下の泥出し
- ・庭の泥出し
- ・家具や部屋の清掃

■依頼のあった地域

岡町、丸山町、小美町、茅原沢町、美合町、保母町、生平町、秦梨町、
檜山町、夏山町、明見町

6 ボランティア活動者数及びボランティアコーディネーター数

実施日ごとのボランティア活動者数及びコーディネーター数

実施日	ボランティア活動者数	コーディネーター数
6月3日（土）	—	—
6月4日（日）	88名	15名
6月5日（月）	127名	5名
6月6日（火）	132名	4名
6月7日（水）	95名	3名
6月8日（木）	78名	4名
合計	520名	31名

・ボランティア活動者の募集については、被災状況やセンターの運営方法等から、岡崎市内に在住、在勤、在学の方に限定し、岡崎市や岡崎市社会福祉協議会のホームページ、日ごろから岡崎市や岡崎市社会福祉協議会ボランティアセンターで使用している公式LINEアカウントを活用しました。

また、市が協定を締結している企業等に協力を依頼し、ボランティア活動者を募集しました。

・ボランティアコーディネーターについては、ボランティアセンターの登録団体である「災害ボランティア・おかざき」、「災害ボランティア一歩の会額田」に依頼しました。

また、局所災害時における支援協定を締結している西三河ブロックの各市社会福祉協議会から、職員の応援と活動資材を提供していただきました。

7 被災地域の様子とボランティア活動の様子

被災地域の様子



濡れた家財の集積所



ボランティアの手で積まれた土のう袋



水で浮き、濡れてしまった家財



水圧で壊れてしまった家屋



140 cmほど浸かって汚れた室内



床下に溜まった泥

ボランティア活動の様子



水に浸かった家財の運び出し



濡れた家財を集積所まで運搬



室内に溜まった泥の掻き出し



室内の泥を庭先に運搬



泥をバケツや土のう袋に入れて運搬



床下の泥だし

8 活動及び運営にご協力いただいた皆様

■ボランティア活動者

- 市内在住、在勤、在学の個人ボランティアの皆様
- 三菱自動車工業株式会社 様
- マルヤス工業株式会社 様
- FC マルヤス岡崎 様
- 株式会社 ALIVE 特掃羅漢 様
- 株式会社ジェイテクト 様
- 岡崎城西高等学校インターアクトクラブ 様
- 光ヶ丘女子高等学校エンジェル部 様

■ボランティアコーディネーター

- 災害ボランティア・おかざき 様
- 災害ボランティア一歩の会額田 様
- 西三河ブロック社会福祉協議会 様

■寄付者

- フタバ産業株式会社 様
- 連合愛知三河中地域協議会 様
- 四字熟語と頭の体操 様
- 熊本県立鹿本商工高等学校 災害時支援ボランティア朝倉班 様
- ヒルタ君の友達 様

今回、災害ボランティア支援センターを運営するにあたり、多くのボランティア活動者の皆様、ボランティアコーディネーターの皆様、寄付者の皆様に支えていただきました。

皆様にご支援をいただくことにより、災害ボランティア支援センターを開設していた期間の被災者支援活動を順調に進めることができ、被災後1週間で通常のボランティアセンターに移行することができましたことを感謝申し上げます。



令和5年7月発行

発行 社会福祉法人岡崎市社会福祉協議会
電話 0564-47-8751
FAX 0564-47-8753
URL okazaki-shakyo.jp
E-mail somu@okazaki-shakyo.jp

お問合せ 社会福祉法人岡崎社会福祉協議会
ボランティアセンター 担当：酒井
電話 0564-47-7955
FAX 0564-47-7956
URL okazaki-shakyo.jp
E-mail vc@okazaki-shakyo.jp